

第 6 回「地質の日記念」&「南紀熊野ジオパーク認定応援」イベント

ジオパークをめざして 川舟で下る熊野川



◎地質の日イベントが開催されました!◎

毎年5月10日は「地質の日」。環境省 熊野自然保護官事務所では、毎年地質に関するイベントを吉野熊野国立公園の各所で実施しています。第 6 回目となる本年は、熊野川をテーマに、川舟を使ったジオクルーズを開催しました。



やたがらす君

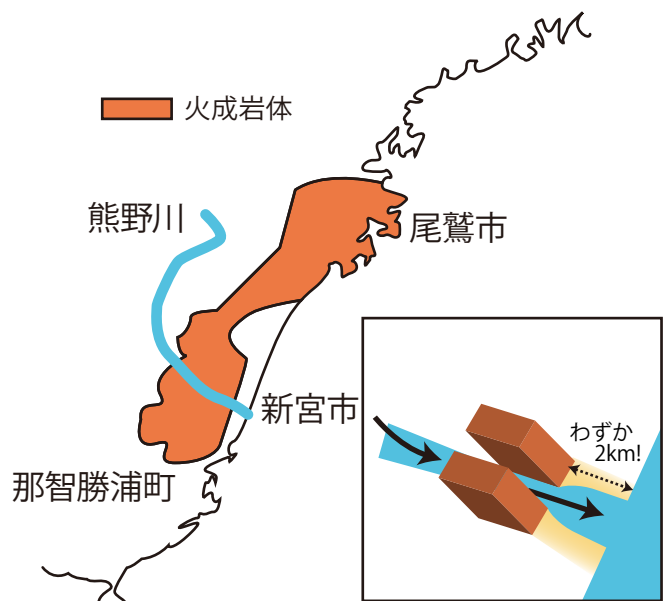
◎ジオパークをめざして 川舟で下る熊野川◎

三重県・和歌山県の県境を流れる熊野川は、流域の大部分が吉野熊野国立公園に指定されており、また、「川の参詣道」として、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されています。国立公園の「特別保護地区」に指定されている「瀨峡」や、熊野三山の「本宮大社」「速玉大社」など、さまざまな見どころがありますが、今回のイベントでは、熊野川の「ジオ(地形・地質)」の側面を取り上げました。

◎熊野川の特徴とは?◎

第一部の地質セミナーでは、熊野川の特徴的な地形について学びました。熊野川は、1 級河川でありながら、河口の近くまで峡谷が続くとも変わった川で、広い川幅と緩やかな流れを持つ下流域はわずか 2 km 程しかありません。

その理由は、太古に活動したマグマからできた火成岩体にあります。その大部分は花崗斑岩と呼ばれる堅い岩で、柱状節理(縦方向の割れ目)をつくったり、急峻な崖をつくったりしやすい性質があります。熊野川は、このような岩体を通り抜けるように流れているため(右図)、峡谷が河口まで続く特殊な形となり、また、マグマの活動に由来するさまざまな地形を観察することができるのです。



◎幽玄の熊野を体験 ～ 雨のジオクルーズ◎



出発します。あいにくの雨ですが、水位が上昇しており、川下りにはもってこいです。



対岸に見えるくぼみが「釣鐘石」です。上部の岩が崩れて川の中に落ちると、この世が滅すると言われています。



巨大な背骨のように見える骨嶋。周囲から際立って白色ですが、これも同じ花崗斑岩です。



霧の中に浮かぶ深山は、熊野の原風景を思わせました。



霧の中に「昼嶋」が見えてきました。柱状節理が発達しており、島の上は碁盤の様に割れています。天照大神と熊野権現が碁を打って遊んだ場所と言われています。

◎参加者の声◎

- 熊野川の景観の生い立ちが分かり、舟でゆっくり楽しむことができました。
- 雨の熊野川の景観が想像以上に素晴らしかったです。
- 他の場所でもジオパークのイベントを開催してほしいです。
- 舟でゆっくり熊野川の景観が楽しめました。身も心も洗われた気分です。



終点の新熊野川大橋です。



熊野川の川舟と柱状節理

あいにくの雨でしたが、
素晴らしい景色を堪能できました。

これからもさまざまなジオパーク関連イベントを
企画していく予定です！



共催	環境省 近畿地方環境事務所・熊野川川舟センター
参加者	5名